

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-61	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	C Ⅲ 706	MY WAY English Communication Ⅲ		

## 1. 編修の基本方針

本書は、英語教育を通して、次の3点を教育理念として掲げる。

### 1. 「ことばの教育」に資する

コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばを通して思考力・判断力・表現力を高め、豊かな言語観を育成する。

### 2. 「国際理解教育」に資する

ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけではなく地域や民族の個性も同時に尊重し合う、豊かな文化観と真の国際理解のための資質・能力を養う。

### 3. 「人間教育」に資する

今日のグローバル社会に生きる子どもたちに、英語を学びながら、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

英語教育は、学校教育の一環としての人間形成の教育であり、ことばの教育を教科独自の課題とし、国際理解教育に対してはとりわけ大きな役割を担っている。この認識に基づき、上記3点の教育理念を具現化するため、特に次の5点を編集の基本方針とする。

- ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。
- ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。
- 言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」における学習で習得した能力を更に伸長させながら、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。
- 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する題材内容を提示すると共に、対話的な学びや深い学びを引き出す統合的かつ創造的な言語活動を目指す。
- 生徒の段階に応じて自律的な学習のための支援を提供し、主体的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力を養成する。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材	①各課でとりあげた題材については、幅広く高校生の知的興味・関心を高めるものを選択し、「生きる力」を育成するに資するテーマを配置した。(第1号)	各Strategy 各Lesson
	②物語教材においては、高校生の感性に訴える作品を配置した。(第1号)	Reading 1, 2
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮する中で、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材の課を設けた。(第2号)	Strategy 3, 6, 8 Lesson 1, 2, 6, 7, 10
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱った課を設けた。(第3号)	Strategy 2, 7, 8 Lesson 1, 2, 6, 7
	⑤生命の尊重を扱った課を設けた。(第4号)	Strategy 7, 8 Lesson 1, 7, 9
	⑥自然科学、環境を扱った課を設けた。(第4号)	Strategy 2, 3, 4 Lesson 2, 7, 10
	⑦日本の伝統文化および他国の文化を扱った課を設けた。(第5号)	Strategy 1, 5 Lesson 3, 4, 5, 6, 8
	⑧平和を扱った課を設けた。(第5号)	Strategy 4, 7 Lesson 1, 7
言語活動	①本課の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。(第2号)	各Let's Write (Unit 1) 各Let's Write & Speak (Unit 1) 各Let's Talk (Unit 1) 各Your Opinion (Unit 2) 各Discussion Questions (Unit 3)
	②本課および各課末、課間の言語活動においては、将来の職業の選択、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題など、自分の考えをまとめて発信できるような題材を扱った。(第1号、第2号、第3号、第4号、第5号)	各Strategy, Lesson 各Let's Write & Speak (Unit 1) 各Let's Talk (Unit 1) 各Your Opinion (Unit 2) 各Discussion Questions Writing Skills Speaking Skills
	③ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮した。(第3号)	各Let's Talk (Unit 1) 各Your Opinion (Unit 2) 各Discussion Questions (Unit 3)
付録	生徒の自律的な学習を支える付録を配置した。(第2号)	本課の学習目標一覧 各LessonのTargets 二次元コード(本文および新出語音声) Sample Answers
登場人物	主な登場人物の配置及び活動においては、男女・出身地域の偏りがないように配慮した。(第3号、第5号)	各Strategy, Lesson 各Listening (Unit 1) 各Listen Up (Unit 2, 3) Writing Skills Listening Skills Speaking Skills Reading 1, 2
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイント、などが生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。(第2号)	各Unitの構成 もくじ 本課の学習目標一覧 各Strategy (Unit 1) 各Targets (Unit 2, 3)

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

---

1. 日本の文化については、理解するとともに発信していく態度を養えるように、題材や活動の面で配慮した。
2. 外国の文化については、英語を母語とする地域のみならず、国際理解の観点から他の地域の文化についても扱った。
3. ことばへの関心などについても、多面的に考えることができるように扱った。
4. 人間としての豊かな心や人間のもっている微細な感情を意識し、そしてまた、幅広い観点からものごとを考えることができるような習慣形成に資する題材を配置した。
5. カラーユニバーサルデザインの見地から、識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助を設けた。
6. 環境にやさしい教科書づくりを心がけた。用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用した。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-61	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	C Ⅲ 706	MY WAY English Communication Ⅲ		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示された教育の方針や高等学校外国語科の教科目標および本書の教育理念に基づき、教科書の構成・配列や各領域などの系統・内容に関して、特に以下のことに意を用いた。

### (1)基本方針

- ①多様化している生徒の実態を考慮し、質量ともに充実を図る。
- ②5領域のバランスを重視し、総合的・統一的に英語でのコミュニケーション能力が育成できるように、構成・内容を工夫する。
- ③教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、主体的・協働的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力が育成されるように配慮する。
- ④基礎的な知識や技能を確実に習得し、それらの知識や技能を目的や場面、状況に応じて活用できる力を、繰り返し段階的に育成できるような教科書構成にする。
- ⑤英語の文章を読んだり聞いたりすることにより、視野を広げ、ことば・文化・人間・社会・自然などについて考えたり、多くの人と関わる経験をする中で、思考力・判断力・表現力を養えるような配慮をする。また、そうした活動・体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容にする。
- ⑥学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、活動、教材、巻末の付録などを充実させた。

### (2)本書の特色と編集上の留意点

#### A. カリキュラムと分量

教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせた。

#### B. 題材内容

- 1) ことばの教育、国際理解教育、人間教育を題材内容の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、生徒の興味を喚起する内容にした。
- 2) 題材は、日常生活・学校生活、言語と民族、国際協力や社会貢献、比較文化、平和や地球環境、自然科学や科学技術、芸術、伝統文化、歴史、人間としての生き方など多様な内容にした。文章は、インタビュー、レクチャー、エッセイ、対話文、論説文、討論、物語など変化をもたせた。
- 3) 場面や登場人物は、英語が広く使われている現況と国際理解の課題との関係から、日本を中心に、英米を中心とした英語圏諸国、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南米の国および人物を配置した。

#### C. 言語材料の扱い

- 1) 言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができるように配慮した。
- 2) 「文法事項」は、表現活動に活用することを基本として、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」で学習した基本的なものから発展的なものまでを総合的に扱った。
- 3) 「文構造」は、英語で言語活動を行うにあたって使用できるように、より運用度が高いものを扱った。
- 4) Unit 1には、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」で学習した内容を再確認できるよう、ListeningとReadingに共通のストラテジーを配置し、Unit 2、3に負担なく移行ができるように配慮した。

- 5) 「単語」は、中学校までの既習語を2,205語、「英語コミュニケーションI・II」の既習語を1,262語とし、それ以外の語は新語として、本課本文で扱ったものは側注、本課本文以外のは巻末の「Word List」で示した。また、「連語・熟語」「表現」については、側注下段で示した。
- 6) 「音声」については、標準的な米音を基本とした。

#### D. 言語活動

言語活動は、主に本課本文、「Let's Write」「Let's Write & Speak」「Let's Talk」「Your Opinion」「Discussion Questions」などで、言語の「使用場面」を考慮し、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを図れるよう配慮した。また、5領域の総合的・統合的な関連を図り、思考力・判断力・表現力を養成できるよう工夫した。「言語の働き」についても留意し、特に会話で多用される慣用的な表現について、「英語コミュニケーションI・II」における体験や学習を踏まえながら、基本的なものを精選して系統的に扱った。

#### E. 本書の構成と内容

- 1) 全体構成は、生徒の学習段階を考慮して、Unit 1・2・3の3つのUnitに分けられている。
- 2) 各Unitの本課本文は、5領域の能力の伸長を目指す総合的な教材とした。本課本文の語数は、130語程度から650語程度までの間で段階的に構成した。
- 3) 各ページの側注には新出語を示し、側注下部には、連語・熟語、表現を示した。新出語のうち、特にコミュニケーションにおいて重要だとみなした語は、太字体（ボールド）で示した。
- 4) Unit 2・3の始めの「Targets」では、生徒がその課での学習の見通しを立てられるようにした。また、「Listen Up」「For Your Information」を設け、生徒がすでに身につけている題材の背景的知識を活性化させたり、情報を得たりするための支援とした。
- 5) Unit 1の練習問題は、Listeningの「1st ~ 3rd Listening」「Let's Talk」、Readingの「Q&A」「Summary」「Let's Write」「Let's Write & Speak」、Unit 2・3の練習問題は、「Listen Up」「TF」「Q&A」「Summary」「Your Opinion」「Discussion Questions」で構成し、5領域の言語活動が総合的・統合的に行われるように配慮した。  
「1st ~ 3rd Listening」は段階的にListeningの内容を確認する問題。「Let's Talk」「Let's Write」「Let's Write & Speak」は題材に関連した内容について自分の意見や考えを発信する創造的な言語活動。「Q&A」は内容理解の確認。「Summary」は本文の内容を表やスライドでまとめて確認する問題。「Listen Up」は題材紹介の英文を確認する問題。「TF」は音声による各Lessonの内容理解の確認。「Your Opinion」「Discussion Questions」は、本課の題材内容に関連して自分の考えを発信する領域統合的な言語活動に資するものとした。
- 6) 課間の「Speaking Skills」では、話し合う、発表するなど段階的に議論の練習ができるよう配慮した。
- 7) 課間の「Listening Skills」では、複数のニュースを聞いて、概要を把握する練習ができるようにした。
- 8) 課間の「Writing Skills」では、日常的な話題と社会的な話題について、自分の意見や考えを書く練習ができるよう配慮した。
- 9) 課間の「Across Subjects」では、教科横断的な学習、活動ができるよう配慮した。
- 10) 巻末付録に、「Sample Answers」を設け、言語活動の参考に資した。また、「WORD LIST」「IDIOM LIST」を提示し、新出語（743語）を掲載し、初出ページを示した。

## 2. 対照表

	図書の構成・内容 (●=Strategy, Lessonなど ○=課間 ◎=付録)	学習指導要領の内容
音声	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新出語 (側注) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出語には発音記号を付した。</li> </ul> </li> <li>●Listening Tips <ul style="list-style-type: none"> <li>・短縮形の音、ポーズ、音の連結、強弱のリズム、/l/・/t/の音、連続する音、音の同化を扱った。</li> </ul> </li> </ul>	(1)ア (ア)(イ)(ウ)
句読法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy、Lesson、Reading</li> </ul> コンマ、ピリオド、コロン、セミコロン、ダッシュなど主な句読点は本文内に配置し、適切に取り扱った。	(1)イ (ア)(イ)(ウ)
語、連語及び慣用表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy、Lesson、Reading <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出語および連語・熟語、慣用表現などは側注で示した。また、本文は現代の標準的な英語を基本とした。</li> <li>○Across Subjects：他教科において使用される語彙定着の一助となるよう提示した。</li> <li>◎WORD LIST、IDIOM LIST：本文中に出てくる新出語、連語・熟語について、アルファベット順に掲載し、初出ページを示した。</li> </ul> </li> </ul>	(1)ウ (ア)(イ)(ウ)
文構造及び文法事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy (Reading)、Lesson (本文)</li> </ul> ・文構造、文法事項は、運用度の高いものを言語活動と効果的に関連づけることを考慮し、満遍なく配置した。	(1)エ (ア)(イ)
(聞く・読む) 言語活動①	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy、Lesson (本文、TF、Q&amp;A、Summary、Your Opinion、Discussion Questions) <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を聞いたり読んだりして、目的や場面、状況に応じて、概要や要点、詳細を把握し、話し手や書き手の意図などを捉え、自分の考えをまとめる。</li> </ul> </li> <li>●Reading (本文、Comprehension) <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を聞いたり読んだりして、概要や要点、書き手の意図などを捉え、自分の考えをまとめる。</li> </ul> </li> </ul>	(2)ア
(話す・書く) 言語活動②	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy (Let's Write、Let's Write &amp; Speak、Let's Talk)、Lesson (Your Opinion、Discussion Questions) <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝える内容を整理し、目的や場面、状況に応じて、要点や意図などを明確にしながらか、話したり書いたりして情報や自分の考えなどを伝え合う。</li> </ul> </li> <li>●Reading (Comprehension) <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文内容について、話したり書いたりして自分の考えなどを伝え合う。</li> </ul> </li> </ul>	(2)ウ
(領域統合型) 言語活動③	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy (Let's Write、Let's Write &amp; Speak、Let's Talk)、Lesson (Your Opinion、Discussion Questions) <ul style="list-style-type: none"> <li>・領域統合的な活動として、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、話したり書いたりして情報や自分の考えなどを表現する。また、話したことを整理して自分の考えを書いたり、書いたことをもとに発表したりする。</li> </ul> </li> </ul>	(2)イ
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy <ul style="list-style-type: none"> <li>・Listening：英文を聞いて必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細、話の展開や話し手の意図を把握する。また、聞き取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする。</li> </ul> </li> <li>●Lesson <ul style="list-style-type: none"> <li>・Listen Up：課の題材に関連した英文を聞き、概要や要点、詳細を把握する。</li> <li>・本文：英文を聞いて必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する。</li> <li>・TF：本文内容に関する英文を聞き取る。</li> <li>・Q&amp;A：本文の内容理解に関する音声を聞き取る。</li> </ul> </li> <li>●Reading：物語を聞いて概要や要点、詳細、話し手の意図などを捉える。</li> <li>○Listening Skills：複数のニュースを聞いて、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する。また、聞き取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする。</li> </ul>	(3)① ア イ(ア)(イ)

読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy <ul style="list-style-type: none"> <li>・Reading：英文を読んで必要な情報から文章の展開や書き手の意図を捉え、概要や要点、詳細を把握する。また、読み取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする。</li> </ul> </li> <li>●Lesson <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文：英文を読んで文章の展開に注意しながら、課題を解決するために必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる。</li> <li>・Your Opinion、Discussion Questions：英文を読んで文章の展開に注意しながら、課題を解決するために必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる。また、まとめた内容を基に解決策を考え、話したり書いたりして伝え合う。</li> <li>・Q&amp;A、Summary：本文から読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う。</li> </ul> </li> <li>●Reading：物語を読んで概要や要点、文章の展開や、書き手の意図などを捉える。また、読み取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする。</li> </ul>	(3)① ア ウ(ア)(イ)
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy <ul style="list-style-type: none"> <li>・Let's Talk：本文に関連した内容について、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合い、会話を発展させる。</li> </ul> </li> <li>●Lesson <ul style="list-style-type: none"> <li>・Your Opinion：本文に関連した内容について、自分の考えや気持ちなどを詳しく話して伝え合い、会話を発展させる。また、その内容を整理して書いたり発表したりする。</li> <li>・Discussion Questions：本文に関連した内容について、自分の考えや気持ち、賛成や反対の意見、課題の解決策などを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う。また、その内容を整理して発表したり書いたりする。</li> </ul> </li> <li>●Reading：物語の内容について、自分の考えや気持ちを詳しく話して伝え合う。</li> <li>○Speaking Skills：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える。</li> </ul>	(3)① ア エ(ア)(イ)
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy <ul style="list-style-type: none"> <li>・Let's Write &amp; Speak：本文に関連した内容について、自分の考えや気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える。</li> </ul> </li> <li>●Lesson <ul style="list-style-type: none"> <li>・Your Opinion：本文に関連した内容について、情報や考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える。また、その内容について質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする。</li> <li>・Discussion Questions：本文に関連した内容について、情報や考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える。また、その内容について質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする。</li> </ul> </li> <li>●Reading：物語の内容について、自分の考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える。</li> <li>○Speaking Skills：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える。また、その内容について質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする。</li> </ul>	(3)① ア オ(ア)(イ)
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy <ul style="list-style-type: none"> <li>・Let's Write：本文に関連した内容について、自分の考えや気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく書いて伝える。</li> </ul> </li> <li>●Lesson <ul style="list-style-type: none"> <li>・Your Opinion：本文に関連した内容について、情報や自分の考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく書いて伝える。また、その内容について質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする。</li> <li>・Discussion Questions：本文に関連した内容について、情報や自分の考え、気持ちなどを自分自身の立場を明らかにしながら、明確な理由や根拠とともに詳しく書いて伝える。また、その内容について質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする。</li> </ul> </li> <li>○Writing Skills：情報や自分の考えなどを明確な理由や根拠とともに、複数の段落を用いて詳しく書いて伝える。</li> </ul>	(3)① ア カ(ア)(イ)
言語の使用場面・働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Strategy（本文、Let's Write、Let's Speak、Let's Listen）、Lesson（本文、Q &amp; A、Summary、Your Opinion、Discussion Questions）、Reading（本文、Comprehension）</li> <li>・言語の使用場面や言語の働きについて、各単元で取り扱うよう適切に配置した。</li> </ul>	(3)② ア(ア)(イ)(ウ) イ (ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)

※配当時間については、別紙カリキュラム表を参照。

# カリキュラム表

S = Strategy (L = Listening R = Reading) L = Lesson R = Reading

課	タイトル	主な言語材料	題材 / 場面	はたらき	L	S や	S 発	R	W	配当 時間
S1	L Spelling Bees	必要な情報を聞き取る / 読み取る	言語、比較文化 / 学校生活	描写する	○	○	○	○		1
	R Blended Words			説明する	○		○	○	○	1
S2	L Green Roofs	意味のまとまりごとに理解する	環境 / ラジオ、雑誌記事、社会生活	描写する	○	○	○	○		1
	R London—National Park City			説明する	○			○	○	1
S3	L Robotic Pets	キーワードや内容語から概要を把握する	科学技術 / 雑誌記事、社会生活	描写する	○	○	○	○		1
	R Flying Cars			仮定する	○			○	○	1
S4	L Buckwheat in the World	視覚情報を利用して聞き取る / 読み取る	食文化 / 講義、インターネット記事、社会生活	描写する	○	○	○	○		1
	R Insects: Food for Future			理由を述べる	○			○	○	1
Speaking Skills 1		話し合いをしよう	学校生活			○			○	1
Across Subjects		Earth Science				○				1
S5	L May Day	論理の展開を把握する(列挙・例示)	伝統文化、比較文化 / プレゼンテーション、学校生活	紹介する	○	○	○	○		1
	R Dragon Boat Racing			紹介する	○		○	○	○	1
S6	L Mere Exposure Effect	論理の展開を把握する(原因・結果)	心理 / 講義、雑誌記事、社会生活	説明する	○	○	○	○		1
	R Placebo Effects			説明する	○			○	○	1
S7	L Amazing Abilities of Animals	話の要点を理解する	動物、平和 / プレゼンテーション、インターネット記事、学校生活	言い換える	○	○	○	○		1
	R The Mine-Detecting Rat: Magawa			描写する	○			○	○	1
S8	L Actions for Saving Children	話者や筆者の意図を推測する	共生、平和 / ブログ、学校生活	賛成する	○	○	○	○		1
	R A Reassuring Song			推論する	○		○	○	○	1
Listening Skills		複数のニュースから情報を得よう	ニュース		○	○				1
L1	“Priceless” Cafe, “Priceless” Community	関係代名詞(主格) / 付帯状況 with	異文化、食、SDGs / 新聞記事	説明する 描写する	○	○	○	○	○	3
L2	Nihonium —A New Element Born in Japan	関係副詞 / 現在完了進行形 / 強調構文	科学 / 雑誌記事	説明する 注意を引く	○	○	○	○	○	3
L3	Tea in the Desert Climate	現在完了 / 関係代名詞の非制限用法 / help+O+動詞の原形	比較文化、食物 / 講義	推論する 説明する	○	○	○	○	○	3
Writing Skills 1		メールを書こう	電子メール			○			○	1
L4	The Benefits of Origami	help+O+動詞の原形 / 助動詞のついた受け身	伝統文化 / プレゼンテーション	説明する 誘う	○	○	○	○	○	3
L5	The Mysteries of English Spelling	関係代名詞(主格) / 省略	言語、歴史 / ブログ	注意を引く 推論する	○	○	○	○	○	3
Across Subjects		Music				○				1
Across Subjects		Nutrition				○				1
L6	New Discovery in the Nasca Lines	現在完了の受け身 / 過去完了の受け身 / 分詞構文	異文化、歴史 / 雑誌記事	話題を発展させる 説明する	○	○	○	○	○	4
L7	Today’s Trash is Tomorrow’s Treasure	現在完了進行形 / 過去完了の受け身 / 分詞構文	環境、SDGs / インターネット記事	描写する 説明する	○	○	○	○	○	4
Speaking Skills 2		自分の意見を発表しよう	社会生活			○	○			1
L8	Nap Time at School	前置詞+関係代名詞 / 分詞構文 / 比較 / 仮定法	日常生活 / 討論	主張する 賛成する 反対する 理由を述べる	○	○	○	○	○	5
L9	Dog Tax	関係代名詞の非制限用法 / 仮定法	社会生活、動物 / 討論	主張する 賛成する 反対する 理由を述べる	○	○	○	○	○	5
L10	Space Development	関係代名詞の非制限用法 / 助動詞+受け身 / 現在完了の受け身 / 現在完了進行形	現代社会、科学 / 事実と意見	話題を発展させる 賛成する 反対する 理由を述べる	○	○	○	○	○	5
Writing Skills 2		自分の意見を書こう	ニュース記事			○			○	1
R1	Anne of Green Gables	仮定法 / 現在完了進行形 / as if ~ / I wish ~	物語 / 本	驚く 聞き直す	○	○	○	○	○	6
R2	Rules are Rules?	be to 不定詞 / 過去完了 / 倒置	物語 / 本	命令する 驚く 聞き直す	○	○	○	○	○	6
WORD LIST										
IDIOM LIST										